

# 鳥取縣公報

第九百三十五號

昭和十三年六月十日

金曜日

## 告示

◇鳥取縣告示第三百四十號

鳥取縣農會技術員養成所ヲ設置シ其ノ名稱及設置場所等左ノ通定ム

昭和十三年六月十日

鳥取縣知事

立

田

清

辰

一名

稱

鳥取縣立農會技術員養成所

一 設置場所

鳥取市吉成鳥取縣立農事試驗場内

一 設立年月日

昭和十三年六月十日

◇鳥取縣告示第三百四十一號

鳥取縣立農會技術員養成所規程左ノ通定メ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十三年六月十日

鳥取縣知事

立

田

清

辰

鳥取縣立農會技術員養成所規程

第一條 本所ハ本縣農村ノ指導ニ從事スル優秀ナル農會技術員ノ養成ヲ爲スヲ以テ目的トス

第二條 養成年限ハ二年トシ毎年四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル  
 第三條 養成中一年間ハ豫算ノ範圍内ニ於テ手當ヲ支給ス  
 第四條 養成課程ヲ終ヘタル者ハ二年間農會技術員タル義務アルモノトス  
 第五條 入所セシムベキ練習生ハ二十名以内トス  
 第六條 入所シ得ル練習生ハ品行方正、身體強健、志操堅實ナル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ナルコトヲ要ス

一 舊甲種農業學校卒業程度以上ノ學力ヲ有スル者  
 二 舊乙種農業學校又ハ青年學校本科農學科卒業程度以上ノ學力ヲ有スル者ニシテ農事試驗場又ハ修鍊農場等ニ於テ一年以上ノ訓練ヲ受ケタル者

前項第二號ニ該當スル者ノ數ハ養成人員ノ三分ノ一以内トス

第七條 練習生志願者ハ市町村長又ハ郡市町村農會會長若ハ最終卒業學校長ヲ經テ別紙様式ノ志願書ニ自筆ノ履歷書並學校成績證明書ヲ添附シ毎年二月二十日ヨリ三月十五日迄ニ所長ヘ提出スベシ  
 第八條 練習生志願者ニハ左記ニ依リ入所試験ヲ施行ス

代數、農業、作文

(舊甲種農業學校卒業程度)

第九條 入所ノ許可ヲ受ケタル者ハ本縣内ニ住居スル公民一人ヲ保證ハトシテ別紙様式ノ保證書ヲ所長ヘ提出スベシ

第十條 練習生ハ合宿スルコトヲ要ス 但シ特別ノ事由ニ依リ合宿シ能ハザル者ニシテ所長ノ許可ヲ受ケタル者ハ此ノ限ニ在ラズ

第十一條 練習生ニ課スベキ學科及教授時數左ノ如シ 但シ必要アル場合ニ於テハ特別講義ヲ爲ス

コトアルベシ

(學科)

	第一學年		備考
	(教授時數) 時間	(教授時數) 時間	
實踐倫理	三〇	三〇	
作物	一〇五	二〇	
品種改良	二〇		
土壤	二〇		
肥料	三五		
農具	二〇		
植物病理	二〇		
農業昆蟲	二〇		
園藝	六〇	一〇	
農産製造	一五		
農業經濟	一〇	五	

00196

00199

農業簿記	二〇	一〇
蠶業大意	一〇	二〇
畜產大意	一〇	二〇
農業土木大意	一〇	
重要副業	二〇	一〇
農政	一〇	五
農業經營	二五	一〇
農會經營	二五	一五
產業組合經營	一五	
合計	五〇〇	一五五

第十二條 練習生ニ課スベキ實習ハ左記箇所ニ於テ之ヲ行フ 但シ必要アリト認ムル時ハ更ニ右以外ノ箇所ニ於テモ之ヲ行フコトアルベシ

- 農事試驗場
- 種畜場
- 蠶業試驗場

00197

修 鍊 農 場

第十三條 練習生ハ指定セラレタル農會ニ於テ二箇月以上實地見習ヲ爲スベシ  
 第十四條 練習生ニシテ已ムヲ得ザル事由ニ因リ休所セントスル者ハ休所願ヲ差出スベシ  
 休所一月以上ニ亘ルトキハ退所ヲ命ズルコトアルベシ  
 第十五條 練習生タル本分ニ違背シ改悛ノ見込ナシト認メタル者ハ退所ヲ命ズ  
 第十六條 練習生退所セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ退所願ヲ差出スベシ  
 第十七條 本所ニ左ノ職員ヲ置ク

- 所長
- 技師
- 技手
- 主事
- 主事 補
- 舎 監

第十八條 所長ハ所務ヲ掌理シ練習生ノ訓育ヲ掌ル  
 第十九條 技師、技手ハ所長ノ命ヲ承ケ練習生ノ訓育ニ當リ所務ヲ分擔ス  
 主事補ハ所長ノ命ヲ承ケ庶務、會計ニ從事ス  
 舎監ハ所長ノ命ヲ承ケ寄宿舎ノ事ヲ掌ル  
 第二十條 本規程實施ニ關スル細則ハ所長之ヲ定ム

附 則

第二十一條 昭和十三年度農事試驗場甲種練習生トシテ入場ヲ許可セラレタル者ハ本規程ニ依ル入所試験ニ合格シ入所ヲ許可セラレタルモノト看做ス

樣式 (用紙半紙對紙)

(イ) 農業練習生志願書

私儀

貴所農業練習生トシテ入所致度候ニ付御許可相成度別紙履歷書相添此段及御願候也

年 月 日

住 所

族籍、戶主ノ職業、戶主トノ續柄

氏

名

印

鳥取縣立農會技術員養成所長殿

(ロ) 履 歷 書

原籍地

現住所

族籍、職業、戶主トノ續柄

氏

名

須藤 博 日  
又ハ 森 田 命 日

學 業

一 何年何月何學校ニ入學(何某ニ就キ修業)

一 何年 何月 卒業

業 務

00199

(ハ)

印

保 證 書

一 何 々 々 右ノ通相違無之候也

年 月 日

右 氏

名

印

一 何年何月何日何々ニ任シ月俸(日給)何程給與

賞 罰

三錢收入

印 紙

今般貴所入所許可相成候ニ就テハ練習中御規則堅ク相守リ専心勉學可仕ハ勿論卒業後ハ本縣ニ於テ農會技術員ニ從事可致仍テ誓約致候也

住 所

練習生 氏

名

印

住 所

族籍、職業、練習生トノ續柄

保證人 氏

名 印

鳥取縣立農會技術員養成所長殿

◆鳥取縣告示第三百四十二號

昭和十三年五月三十一日縣參事會ノ議決ヲ經タル昭和十三年度鳥取縣歲入歲出追加更正豫算並同年  
度特別會計中小商工業金融施設費歲入歲出豫算ノ要領左ノ通

昭和十三年六月十日

鳥取縣知事

立

田

清

辰

昭和十三年度鳥取縣歲入歲出追加更正豫算

△印減高

第十一款	經 常 部	使用料及手數料	三〇〇圓
第一項	使 用 部	雜 入	三〇〇
第十三款	雜 入	過 年 度 收 入	一七、九三〇
第八項	雜 入	雜 入	一五、七三二
第九項	經 常 部 計	歲 入	二、二〇八
第一項	臨 時 部	歲 入	一八、二三〇
第一款	經 常 部	歲 入	二、五四三圓
第一項	前 年 度 繰 越 金	國 庫 補 助 金	二、五四三
第二款	國 庫 補 助 金		二六三、六六二

00201

第二項	土 木 費 補 助 金	二一八、八四〇
第三項	教 育 費 補 助 金	五、〇〇〇
第四項	衛 生 費 補 助 金	五、〇〇〇
第五項	勸 業 費 補 助 金	三三、七四二
第六項	社 會 事 業 費 補 助 金	一、〇八〇
第三款	寄 附 金	七九、九〇〇
第一項	土 木 費 寄 附 金	七二、〇〇〇
第三項	勸 業 費 寄 附 金	七、七〇〇
第六項	教 育 費 寄 附 金	二〇〇
第九款	縣 債	一六一、〇〇〇
第一項	縣 債	一六一、〇〇〇
歲 入	臨 時 部 計	五〇七、一〇五
歲 入	經 常 部 計	五二五、三三五
第三款	縣 職 員 費	二、一九〇圓
第一項	俸 給 諸 費	二、三七〇
第二項	廳 應 給 費	一八〇
第七款	教 育 費	二〇〇
第九項	學 事 諸 費	二〇〇

第八款	衛生及病院費	一三、一九三
第二項	衛生諸費	一二、一九三
第九款	勸業費	一八、三六五
第十四項	產業獎勵費	一八、三六五
第十一項	社會教育費	五、〇〇〇
第一項	青年學校教員養成所費	五、〇〇〇
第十六款	財產費	五三六
第一項	維持費	五三六
歲出	經常部計	三八、四八四
臨時部	臨時部	
第一款	土木部	
第二款	道路費	四五、六八〇圓
第六項	砂防費	二二六、六八〇
第四款	勸業費	二二五、〇〇〇
第一項	勸業費	二〇〇
第十二款	勸業補助費	二〇〇
第一項	勸業補助費	六九二
第三十四款	事業變費	六九二
第一項	勸業變費	一八、八六〇
第四項	勸業費	一八、八六〇
第三十五款	縣債費	五、一一九

第二項	利子	二、五七六
第三項	雜費	二、五四三
第三十七款	連絡土木事業費	一、〇〇〇
第一項	事業費	一、〇〇〇
第四十九款	民有林木材増産施設費	九、三〇〇
第一項	間伐指導費	九、三〇〇
歲出	臨時部計	四八六、八五一
歲出	合計	五二五、三三五
昭和十三年度特別會計中小商工業 金融施設費歳入歳出豫算		
第一款	補償料	三、四〇〇圓
第一項	補償料	三、三五〇
第二項	利子	三、四〇〇
歲入	合計	三、四〇〇
第一款	國庫納付金	一、六七五
第一項	國庫納付金	一、六七五
第二款	補償準備金編入金	一、七二五
第一項	補償準備金編入金	一、六七五

第二項 出 利

歲 出 合 計

子

五〇  
三、四〇〇

鳥取縣告示三百四十三號  
米穀現在高調査員左ノ通囑託アリタリ

昭和十三年六月十日

鳥取縣知事

立 田 清

辰

囑 託 者

擔 當 調 査 區 域

職 務 執 行 ノ 場 所

囑 託 年 月 日

榮 田 久 米 治

氣高郡神戶村

氣高郡神戶村役場

昭和十三年  
六月六日

鳥取縣告示第三百四十四號

大正十四年文部省令第三十號實業學校卒業程度檢定規程ニ依リ左記ノ通第十四回實業學校卒業程度檢定ヲ施行セラル受檢者ハ昭和十三年七月十五日迄ニ願書類ヲ鳥取縣廳ニ差出スベシ  
追而右ニ關スル手續其ノ他ノ問合セハ鳥取縣學務課或ハ文部省實業學務局實檢係宛(返信用郵券四錢封入)ニスルコト

昭和十三年六月十日

鳥取縣知事

立 田 清

辰

一 本檢定ハ現ニ實業ニ從事シ又ハ將來從事セントスル者デ境遇其ノ他ノ事情等ニ依リ正規ノ實業學校ヲ卒業出來得ザル者ニ對シ甲程度ノ實業學校卒業者ト同等ノ資格ヲ附與スル爲ノ施設ナリ  
一 出願期限 昭和十三年七月十五日迄  
右期限内ニ願書類ヲ鳥取縣廳ニ差出スコト

00205

一 檢定ヲ爲スベキ學校ノ種別、學科、期日

1 工業學校 (機械學科) 自 九月二十五日 至 十月二日

2 同 校 (建築學科) 自 九月二十五日 至 十月一日

3 農業學校 (農業學科) 自 九月二十五日 至 十月一日

4 商業學校 自 九月二十五日 至 九月三十日

一 本檢定ニ合格シタル者ハ甲程度實業學校卒業者ト同等ノ資格ヲ得ラレ左ノ特典アリ

1 高等學校高等科、專門學校、大學豫科入學資格

2 判任文官任用資格

3 計理士試驗受験資格

4 高等試驗豫備試驗受験資格

5 中等教員檢定受験資格

6 小學校教員無試驗檢定資格

一 支那事變ノ爲昭和十二年度ノ本檢定出願者ニシテ出願後應召ノ爲或ハ在營中ノ者ニシテ勤務上受験不可能トナリタル者ニ對シテハ特別ノ取扱ヲナサレル事トナリタリ(詳細ハ縣學務課ニ照會ノコト)

一 昭和二年度以前ノ本檢定合格者ハ左記ノ學科目ヲ受験シ之ニ合格シタル時ハ甲程度ノ實業學校卒業者ト同等ノ資格ヲ得ラル

09206

工業學校機械學科 地理及歴史、體操  
 同 建築學科 地理及歴史、體操、建築法規  
 農業學校農業學科 英語、圖畫、體操  
 商業學校 圖畫、體操

一 昭和五年度以前ニ交付ノ法制經濟ノ證明書ハ公民科ノ證明書ト同一ノ效力アリ  
 一 本檢定ニ關シテハ昭和十三年五月十二日第三四〇四號官報ノ文部省告示第二〇二號ヲ参照ノコト

鳥取縣告示第三百四十五號  
 昭和六年五月二十八日教第六四八號ヲ以テ松出市三郎ニ交付セシ恩給證書ハ紛失セル旨届出ニ依リ  
 恩給々與規則第三十六條第一項ノ規定ニ依リ昭和十三年六月四日再交付セリ  
 昭和十三年六月十日 鳥取縣知事 立 田 清 辰

鳥取縣告示第三百四十六號  
 大正六年五月十五日教第二七六號ヲ以テ相見義健ニ交付セシ恩給證書ハ紛失セル旨届出ニ依リ恩給  
 々與規則第三十六條第一項ノ規定ニ依リ昭和十三年六月四日再交付セリ  
 昭和十三年六月十日 鳥取縣知事 立 田 清 辰

### 彙報

六月八日發行「週報」掲載内容左記ノ通り  
 週報第八十六號掲載内容  
 一 ソ聯邦新五箇年計畫 (規 畫 院)  
 一時局ト轉向者ノ活動 (司 法 省)  
 一 産業労働者ト健康保險 (保 險 院)  
 一 戦況西方ニ發展す (陸 軍 省 新聞班)  
 一 廣東の恐怖 (海軍省海軍軍事普及部)  
 一 プラジルの新移民法 (國際時事解説)  
 一 (外務省情報部)

00207

昭和十三年六月三日

鳥取縣總務部統計課

昭和十三年ナタネ作付段別並作柄  
 本縣ニ於ケル本年ナタネ作付段別ハ一、〇九〇町三段ニシテ前年作付段別ニ比シ一九五町九段(二割一分九厘)ヲ増加セリ  
 而シテ五月二十日現在ニ於テ前年作柄一〇〇トシテ觀タル本年作柄ノ割合ハ九八ニシテ即チ二分減ノ作柄ナリ  
 蓋シ本年ノナタネ作柄ハ移植後天候概シテ適順ニシテ生育良好ナルヲ得タルモ五月中旬ニ於テ風害ヲ蒙リシ爲前記ノ如キ豫想ヲ見ル  
 ニ至レリ

尙各郡市別ニ示セバ次表ノ如シ

昭和十三年ナタネ作付段別並作柄

總數	作付段別			前年作柄ノ割合		前年作付反別ニ比シ増減(△ハ減)	
	一、〇九〇町三段	二、	三、	前年作柄ノ割合	前年作付反別ニ比シ	増減(△ハ減)	
鳥取市	三二、六			九八	一一、八		
米子市	二五、四			一〇三	三、四		
岩美郡	四二、五			一〇三	二二、二		
八頭郡	七六、九			一〇〇	七、一		
高松郡	一〇二、三			九六	二一、七		
伯耆郡	五七、七			九七	一一、〇、八		



03208

西伯野郡

二二二、八  
一〇、一

九九  
九五

五、〇  
二、九

備考

米子市ノ前年ノ數ニハ新合併村分ヲモ含メ比較セリ

昭和十三年六月七日

鳥取縣 總務部 統計課

本縣ニ於ケル本年麥作付反別及前年トノ比較ハ

本年作付反別

前年作付反別ニ比シ

大麥

三、三〇一町四反

三〇五町九反(一割二厘)增

稈麥

四、〇五三、五

二八八、六(六分六厘)減

小麥

二、六二〇、二

一七〇、〇(六分九厘)增

計

九、九七五、一

一八七、三(一分九厘)增

而シテ五月二十日現在麥豫想收穫高及其ノ前年實收高トノ比較ハ

本年豫想收穫高

前年實收高ニ比シ

大麥

四九、八八〇石

四、〇三七石(八分八厘)增

稈麥

五五、二六〇

六、四四八(一割四厘)減

小麥

三五、二九〇

二、四四九(七分五厘)增

計

一四〇、四三〇

三八(〇)增

尙前五ヶ年平均實收高ニ比スレバ

大麥

一四、五八九石(四割一分三厘)增

稈麥

六、三三一(一割二分九厘)增

00209

小麥

一一、〇九二(四割五分八厘)增  
三二、〇一二(二割九分五厘)增

蓋シ本年ノ麥作ハ秋分ニ於ケル天候不順ナリシ爲多少播種期遅延シタルモ冬期間降雪量尠ナク且病虫害モ僅少ナリシニ加ヘテ春分ニ於ケル氣候概シテ適順ナリシヲ以テ稍々良好ナル生育ヲ遂ゲタルモ五月中旬ニ於テ風害ヲ蒙リシ爲前記ノ如キ收穫ヲ見ルベキ豫想ナリ

昭和十三年麥豫想收穫高  
各郡市別次表ノ如シ

總數	豫想收穫高 (五月二十日現在)		前年作付反別ニ比シ (△ハ減)		前年實收高ニ比シ	
	作付反別	豫想收穫高	前年作付反別ニ比シ	前年實收高ニ比シ	前年作付反別ニ比シ	前年實收高ニ比シ
鳥取市	大麥	三六、五	△	一〇、五	△	一五三
	稈麥	一六四、三	△	八、五	△	五五三
	小麥	四四、〇	△	一、一	△	一〇四
計	二四四、八	三、四四三	△	九	△	五〇四
米子市	大麥	八四、七	△	五、六	△	二七三
	稈麥	一七八、三	△	三三、八	△	三五〇
	小麥	一五九、六	△	七、五	△	三九二
計	三九一、六	二、七四二	△	四四、九	△	四〇三七石
總數	大麥	三、三〇一町四反	△	三〇五町九反	△	四、〇三七石
	稈麥	四、〇五三、五	△	二八八、六	△	六、四四八
	小麥	二、六二〇、二	△	一七〇、〇	△	二、四四九
計		九、九七五、一	△	一八七、三	△	三八

21900

東伯郡		氣高郡			八頭郡			岩美郡			計
小麥	稗麥	大麥	計	小麥	稗麥	大麥	計	小麥	稗麥	大麥	計
二、六八九、三	八七〇、五	一、〇九四、八	一、四二〇、五	一、四二〇、五	八〇六、七	四三〇、六	一、〇九四、八	一、四八〇、七	七〇、一	二二八、四	四二二、六
三四、九〇四	一〇、九六〇	一五、一五〇	一八、五四三	一八、五四三	八、七九四	六、一一一	一〇、二二〇	一九、六〇五	一〇、三八四	三、六九七	七、七二一
		△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
三六、七	七八、三	四七、三	六、一	六、一	八八、九	七四、五	八〇、七	六四、一	一六、五	三七、五	三一、九
		△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
一、四四〇	一、三七五	七〇、五	九八二	九八二	七八、〇	八八六	一、七八〇	八七	七〇、八	九一	二三一

日野郡		西伯郡				
小麥	稗麥	大麥	計	小麥	稗麥	大麥
五四二、九	一四〇、九	三六三、一	一、〇九四、八	二、四一五、八	六一九、五	八二〇、〇
七、六八五	一、三九七	五、六五二	一三、二六六	三八、一四五	一〇、一〇〇	一五、一五〇
			△		△	△
八三、三	一二、九	六八、九	一三、八	二二、八	五九、六	四七、三
			△		△	△
一、四一六	二四	一、二七六	六五、六	四八〇	六九〇	七七〇

(備考)  
米子市ノ前年ノ數ニハ新合併村分ヲモ含メ比較セリ

人口動態一覽

昭和十三年四月分

備考	前年同月	婚姻		出生		死亡		不詳		差引
		結婚	離婚	男	女	男	女	男	女	
鳥取市	三三	三	三	七〇	五五	四八	三三	四〇	三	四五
米子市	二六	三	三	四四	四七	四二	三三	三五	三	二二
岩美郡	二六	二	二	七二	六六	〇三	三三	〇三	三	七四
八頭郡	四五	一	一	一九	一〇三	七二	三〇	一四〇	一	八三
氣高郡	三三	二	二	一〇四	八八	六五	三六	一〇三	一	八九
東伯郡	九	九	九	一九	一七	〇七	九	二〇〇	一	一七
西伯郡	七〇	二	二	一三〇	一二	七五	七六	一五二	一	八二
日野郡	二七	二	二	四六	五	三五	三六	七二	二	二六
計	三六〇	三	三	七七二	六九二	四七六	四〇七	八八三	一	五八〇
前年同月	四〇六	二九	七四	七二	一、四五五	三八七	三七二	七九	三〇	六九七

備考 表中×印ハ本籍不明者 ○印ハ戶籍扶消者  
 婚姻、離婚ノ組數ハ婚姻ニアリテハ他市町村ヨリ入リタル者及自市町村内ニ於テ婚姻シタル者ヲ、離婚ニアリテハ他市町村ニ出タル者及自市町村内ニ於テ離婚セル者ヲ掲グ

昭和十三年六月十日印刷  
 昭和十三年六月十日發行

發行所 鳥取縣鳥取市東町  
 鳥取縣氣高郡大正村大字古海  
 印刷所 鳥取刑務支所